

健康福祉みらい部長の仕事宣言！

健康福祉みらい部長 詫 間 聡

①リープロの名称	市民の暮らしを支えるまちをつくるプロジェクト
②目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・全死亡に対する早世（65歳未満の死亡）の割合 12.6% ・休日や夜間に受診できる医療機関を知っている親の割合[1歳6か月健診時]100% ・鳥栖市地域子育て支援センター利用者 36,000人 ・保育所待機児童数 0人 ・要支援・要介護認定者の割合 17.60% ・相談支援事業年間利用者数 310人
③今年度の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・うらら健康マイレージクラブに参加しやすいように、通年での実施、ポイントの繰越など実施内容の拡充を図ります。 ・特定健診の受診率の向上を図ります。また、特定健診の結果がハイリスクである方へ家庭訪問による保健指導を行い、生活習慣病の重症化予防に努めます。 ・休日救急医療センターを運営するとともに、久留米広域小児救急医療センター事業に参加し、小児の救急体制を確保します。 ・保育供給量の確保に努め、待機児童等の解消を図ります。 ・保護者の育児不安の緩和のため、子育て支援センターでの育児相談や育児講座等を行います。 ・介護予防事業を進めます。 ・「いきいき健康教室」「ふまねっと教室」「ロコトレ教室」等、軽運動による健康的な生活習慣の形成と適切な運動習慣の普及定着を推進します。 ・障害のある人の自立支援を充実させます。 ・障害のある人が地域生活に定着できるよう支援体制の充実を図ります。
④今年度の取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診査の実施とその結果による生活習慣改善の支援を行いました。 ・休日救急医療センターを運営するとともに、小児の救急体制を確保に努めました。 ・保育所の定員増、認定こども園への移行を働きかけるなど保育供給量の確保に努め、待機児童等の解消が図れました。
⑤数値目標の結果	数値目標の結果としては、現状、いくつかの項目において未達成の状況にあります。この結果を踏まえ各種施策に取り組みたい。
⑥成果と課題（次年度に向けて）	年度を通じて継続的な事業を実施することにより進捗を図ることができました。次年度に向けても、この「市民の暮らしを支えるまちをつくるプロジェクト」を継続的にやりたい。

◇副市長の指示

- ・市民の主体的な健康づくりのきっかけとなるよう、今後も継続してうらら健康マイレージ制度の推進に取り組んでいくこと。
- ・第2期子ども子育て支援事業計画において供給量不足となっている部分については、確保の方策に鋭意取り組んでいくこと。

健康福祉みらい部長の仕事宣言！

健康福祉みらい部長 詫 間 聡

①リープロの名称	多様な文化が息づくまちプロジェクト
②目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・文化事業入場・参加者数 30.000 人 ・市民文化祭入場・参加者数22.000人 ・市有体育施設利用者数650.000人 ・市民スポーツセミナー（指導者向け）参加者数50人
③今年度の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・市民文化活動の振興を図ります。 アウトリーチ事業、鳥栖市市民文化祭事業。 ・スポーツを「する・親しむ・見る・出場する・応援する・支える」機会の充実を図ります。 各種教室・大会開催、総合型地域スポーツクラブ支援事業、全国大会出場費の助成事業、サガン鳥栖支援事業、地域交流推進事業。 ・文化芸術・スポーツ施設の整備・利用促進を図ります。 スポーツ施設の合理的・機能的な運用 ・文化芸術・スポーツを担う人材・団体を育成・支援します。 鳥栖市体育協会、スポーツ推進委員会、鳥栖市文化事業協会委託事業、フッペル鳥栖ピアノコンクール事業。
④今年度の取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の保育園等に出向き訪問演奏（アウトリーチ）を実施しました。 ・地区スポーツ教室等を開催するとともに、(株)サガンドリームス等と意見及び情報交換を行い、サガン鳥栖への支援等を実施しました。 ・文化芸術・スポーツ施設共に適切な管理・運用に努めました。 ・各種団体と協力しながら、文化芸術の催しや指導者を対象としたスポーツセミナーを開催しました。
⑤数値目標の結果	数値目標の結果としては、現状、いくつかの項目において未達成の状況にあります。この結果を踏まえ各種施策に取り組みたい。
⑥成果と課題（次年度に向けて）	年度を通じて継続的な事業を実施することにより進捗を図ることができました。次年度に向けても、この「多様な文化が息づくまちをつくるプロジェクト」を継続的にやりたい。

◇副市長の指示

次世代を担う団体や人材の育成が課題となっていることから、各種団体等と連携しながら課題解決に取り組んでいくとともに、文化芸術・スポーツに触れることのできる機会の充実を図っていくこと。